

CASBEE[®]-建築(新築)

評価結果

■使用評価マニュアル: CASBEE-建築(新築)2014年版 | 使用評価ソフト: CASBEE-BD_NC_2014(v.3.01)

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	大阪府豊中市新千里南第1期高層住居	階数	地上13F
建設地	大阪府豊中市新千里南町二丁目1番	構造	RC造
用途地域	商業地域、防火地域	平均居住人員	270 人
地域区分	6地域	年間使用時間	8,760 時間/年
建物用途	集合住宅	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2019年6月 予定	評価の実施日	2016年11月28日
敷地面積	4,640 m ²	作成者	高橋建築設計事務所
建築面積	478 m ²	確認日	2016年11月30日
延床面積	4,677 m ²	確認者	



2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)

BEE = 1.1 ★★★★★

S: ★★★★★ A: ★★★★★ B: ★★★★★ C: ★

2-2 ライフサイクルCO₂(温暖化影響チャート)

標準計算

①参照値 ②建築物の取組み ③上記+②以外の ④上記+

184 (kg-CO₂/年・m²)

2-3 大項目の評価(レーダーチャート)

2-4 中項目の評価(バーチャート)

Q 環境品質

Q1 室内環境

Q1のスコア = 3.1

Q2 サービス性能

Q2のスコア = 2.5

Q3 室外環境(敷地内)

Q3のスコア = 2.8

LR 環境負荷低減性

LR1 エネルギー

LR1のスコア = 3.4

LR2 資源・マテリアル

LR2のスコア = 3.3

LR3 敷地外環境

LR3のスコア = 3.4

3 設計上の配慮事項		
総合 ・府営住宅の建て替え計画であり、入居者の年齢や家族構成、要望等のアンケートをもとに住形式を配分し、安全で住みやすい共同住宅としている。		その他 なし。
Q1 室内環境 ・屋根、外壁、最下床の断熱施工により内部の熱負荷を抑え、住戸間は遮音を考慮した構造としている。 ・接着剤、塗装材等はシックハウスを考慮したものを使用している。	Q2 サービス性能 ・住戸内は手摺を設置し、フルフラット床としている。 ・1階には車いす常用者世帯向け住戸を設、E/Vを福祉対応のものとする事で車いすの生活に対応できるようにしている。	Q3 室外環境(敷地内) ・周辺のまちなみや景観に配慮した形状、色彩の計画としている。 ・道沿いに多くの緑地を設けることにより、まちなみに心地よい緑の景観を形成している。
LR1 エネルギー ・断熱施工をし、室内エネルギーの省力化を図っている。	LR2 資源・マテリアル ・住戸間仕切りを廃材の分別が容易な木+PBパネル工法にしている。 ・階高を同じにして、RC躯体型枠の転用率を高めている。 ・住戸タイプの上下左右同タイプ率を高め、建材の量産	LR3 敷地外環境 ・建物の階数を13階とし境界から離すことで、近隣及び同団地内住棟への日影や日照、風通しをよくしている。

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)
 ■Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)
 ■「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと
 ■評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される

大阪府建築物環境配慮評価システム 2015年版

大阪府の重点評価(結果)

受付番号

H28-0136

Osakafu-新築・既存 2015V1.03

【建物概要】	建物名称	大阪府営豊中新千里南第1期高層住宅(建て替え)新築工事(第2工区)					
	建設地	大阪府豊中市新千里南町二丁目1番1の一部					
	用途/区分	集合住宅					
【評価結果】	CASBEE 総合評価					B+	
	CO2削減					4	
	省エネ対策					3	
	みどり・ヒート アイランド対策					3	
	再生可能エネルギー 利用施設の導入状況	太陽光発電	—	風力	—	地熱	—
		太陽熱利用	—	水力	—	バイオマス	—
	エネルギー消費量の報告					対象外	

【評価項目】				
省エネルギー対策		① CO2削減		
省エネ対策		② 省エネ対策		
項目	評価内容	スコア	評価	
① CO2削減	CASBEE「LR3-1」のスコアによる評価	4.2	4	
② 省エネ対策	外皮性能	CASBEE「Q1-2. 1. 2」のスコアによる評価 建物全体 住戸・宿泊	3.0	3
	建物外皮の熱負荷抑制	CASBEE「LR1-1」のスコアによる評価	3.0	
	自然エネルギーの利用	CASBEE「LR1-2」のスコアによる評価	3.0	
	設備システムの高効率化	CASBEE「LR1-3」のスコアによる評価	3.9	
	効率的運用	CASBEE「LR1-4」のスコアによる評価	3.0	
	水資源保護	CASBEE「LR2-1」のスコアによる評価	3.4	
	エネルギー消費の実態把握に努める	エネルギー消費量の実績を3年間報告する。	報告する 報告しない	
みどり ヒートアイランド対策	③ みどり・ヒートアイランド対策			
項目	評価内容	スコア	評価	
生物環境の保全と創出	CASBEE「Q3-1」のスコアによる評価	2.0	3	
敷地内温熱環境の向上	CASBEE「Q3-3. 2」のスコアによる評価	4.0		
温熱環境悪化の改善	CASBEE「LR3-2. 2」のスコアによる評価	3.0		
その他				
先進的技術の導入	技術の名称	考慮事項		
特に配慮した事項				